

(1) 第1次総合計画の検証結果について

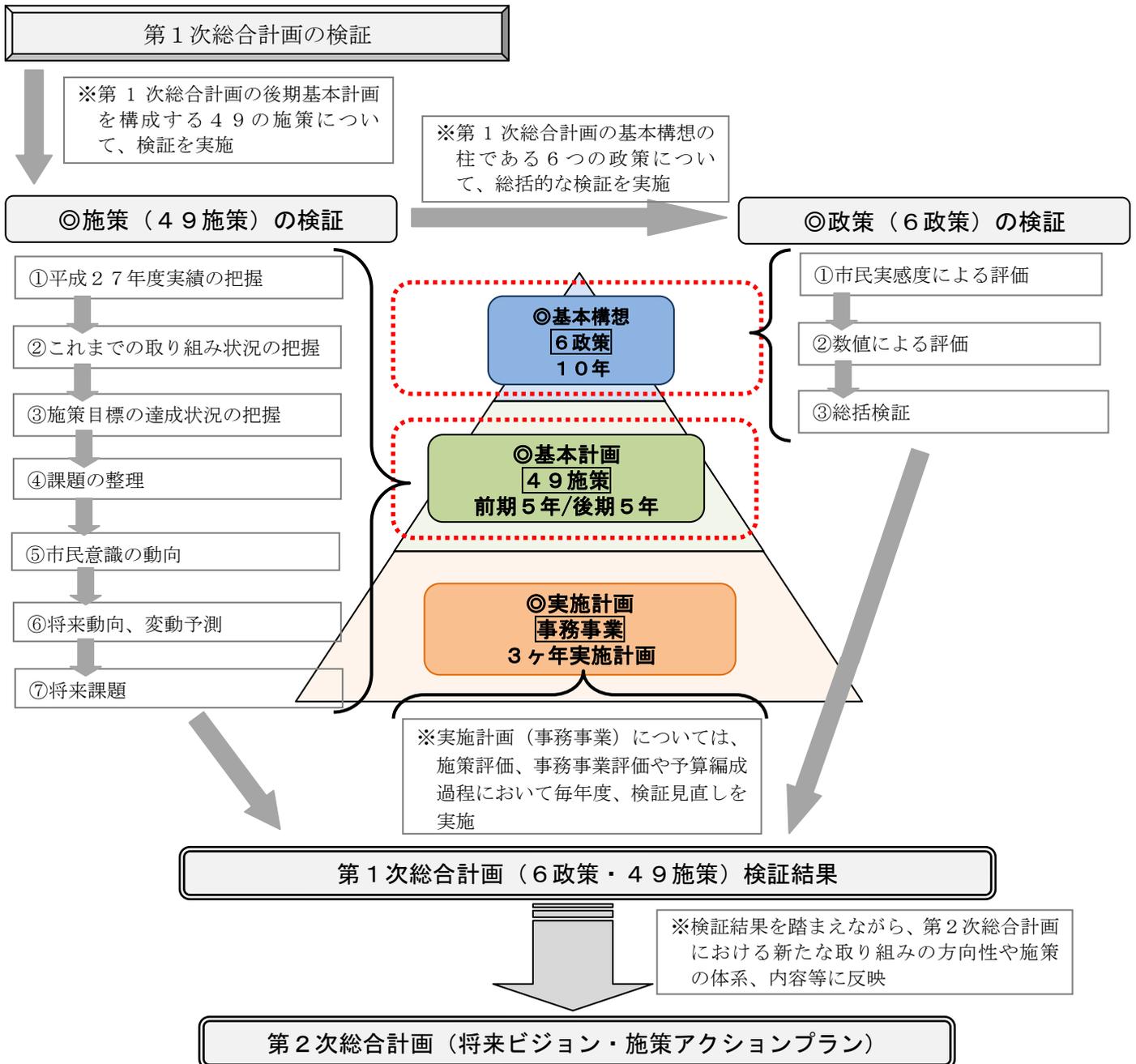
1 検証の趣旨

第2次総合計画の策定にあたっては、これまで推進してきた計画の検証のもと、進めていくことが重要であります。

そのため、第1次総合計画を構成する各施策の達成状況を把握し、課題等を整理するとともに、その結果を基礎として、第2次総合計画における新たな施策体系を構築することを目的に第1次総合計画の検証を行いました。

2 検証の流れ

検証にあたっては、今年度の施策評価（平成27年度分評価）の結果をもとに、49の施策の進捗状況や目標の達成状況を明らかにし、近年の市民意識の動向を踏まえながら、将来課題等について整理しました。また、その結果を踏まえながら、6つの政策について、総括的な検証を行い、第1次総合計画の検証結果としてとりまとめました。



3 検証の方法

(1) 施策の検証（後期基本計画49施策）

施策の検証として、以下の項目について、把握、分析を行った。

①平成27年度実績の把握について

検証にあたり、施策目標の達成度を測るための目安として、第1次総合計画後期基本計画策定時に設定した市民実感度指標と数値指標について、平成27年度の実績値を把握した。数値指標について、現時点で実績値の把握できないものについては、見込値として把握した。

②これまでの取り組みの進捗状況について

施策目標の達成に向けた取り組みの進捗状況について把握するため、各施策の主な取り組みの進捗状況について把握した。※後期基本計画に掲載した主な取り組みについて把握

③施策目標の達成状況について

市民実感度指標や数値指標など平成27年度の実績値や主な取り組みの進捗状況を踏まえながら、施策目標の達成状況について検証を行った。

④課題整理について

施策における現時点の課題を把握するため、施策目標の達成状況や計画期間における社会経済情勢変化を踏まえながら、課題を整理した。

⑤市民意識の動向について

平成27年度市民実感度調査結果を踏まえ、施策に対する市民の実感度や重要度を把握した。

⑥将来動向、変動予測について

施策を取り巻く情勢の将来見通し（5年後、10年後の情勢）として、施策の推進に影響を与える事項や注視しなければならない事項について把握した。

⑦将来課題について

「課題」「市民意識の動向」「将来動向、変動予測」などを踏まえ、将来、対応していかなければならない課題について整理・把握した。

⑧結果の反映

上位計画となる政策の検証に活用するとともに、第2次総合計画の基本構想（将来ビジョン）や基本計画（施策アクションプラン）に反映していく。

(2) 政策の総括検証（基本構想6政策）

6つの政策を構成する49施策の施策目標の達成状況を踏まえながら、第1次総合計画基本構想（10年）の総括的な検証を行った。

第1次総合計画 基本構想（6政策）

◎第1章 広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり〔土地利用都市基盤〕

恵まれた交通環境と地理的特性を最大限に生かし、活発な交流を支える美しく機能的な都市空間を形成します。

◎第2章 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり〔産業〕

笠間の風土が息づくさまざまな交流を広げ、市民の豊かな暮らしにつながる活力ある産業の振興を図ります。

◎第3章 共に支え合い、健やかに暮らせるまちづくり〔健康・福祉〕

支えあう心を大切にし、だれもが安心して健やかに暮らせる福祉社会の実現を目指します。

◎第4章 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり生活環境

豊かな自然との共生を基本として、だれもが安全にゆとりを持って暮らせるやさしに包まれた環境をつくります。

◎第5章 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり〔教育・文化〕

歴史や文化を育んできた風土を大切にし、次代を担う人づくりを進め、創造・発信する豊かな文化を育みます。

◎第6章 人と地域、絆を大切にした元気なまちづくり〔自治・協働〕

一人ひとりを大切にし、市民と行政の協働による楽しく元気なまちづくりを実践します。

①市民実感度による評価

- 平成27年度市民実感度調査結果及び平成18年度市民アンケート調査結果の比較（推移）
 - ・平成18年度と平成27年度調査結果の比較（推移）による客観的な評価を行った。

②数値指標による評価

- 数値目標の達成率
 - ・平成27年度目標値に対する平成27年度実績値を把握し、達成度合いによる客観的な評価を行った。

③検証の総括

- 49の施策の検証結果と、上記①②の結果を踏まえながら、総括を行った。

<参考1>

◎第1次総合計画施策体系（基本構想＋基本計画）

基本構想		基本計画
まちづくりの目標 (将来像)	政策※6つの柱 (6政策＋18小政策)	施策＋小施策 (49施策＋165小施策)
<p>○将来像</p> <p>住みよいまち 訪れてよいまち 笠間 ～ みんなで創る 文化交流都市 ～</p>	<p>第1章 広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり 〔土地利用・都市基盤〕</p>	<p>1 土地利用</p> <p>2 拠点づくりと市街地整備</p> <p>3 幹線道路</p> <p>4 公共交通</p> <p>5 美しい景観の保全・整備</p>
	<p>第2章 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり 〔産業〕</p>	<p>6 観光</p> <p>7 地場産業</p> <p>8 農林業</p> <p>9 グリーンツーリズム</p> <p>10 商業</p> <p>11 工業</p> <p>12 雇用・労働環境</p>
	<p>第3章 共に支えあい、健やかに暮らせるまちづくり 〔健康・福祉〕</p>	<p>13 子ども・子育て支援</p> <p>14 少子化対策</p> <p>15 保健・医療</p> <p>16 社会保障</p> <p>17 地域福祉</p> <p>18 高齢者福祉</p> <p>19 障害者福祉</p>
	<p>第4章 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり 〔生活環境〕</p>	<p>20 生活道路</p> <p>21 公園・緑地</p> <p>22 河川</p> <p>23 上水道</p> <p>24 生活排水</p> <p>25 住宅</p> <p>26 斎場・墓地</p> <p>27 防災</p> <p>28 消防</p> <p>29 防犯</p> <p>30 交通安全</p> <p>31 消費者行政</p> <p>32 環境保全・公害防止</p> <p>33 廃棄物対策</p>
	<p>第5章 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり 〔教育・文化〕</p>	<p>34 幼児教育</p> <p>35 学校教育</p> <p>36 青少年育成</p> <p>37 生涯学習</p> <p>38 スポーツ・レクリエーション</p> <p>39 文化財</p> <p>40 芸術・文化</p> <p>41 国際化</p>
	<p>第6章 人と地域、絆を大切にした元気なまちづくり 〔自治・協働〕</p>	<p>42 人権尊重</p> <p>43 男女共同参画社会</p> <p>44 市民協働</p> <p>45 地域コミュニティ</p> <p>46 広報・広聴</p> <p>47 行政運営</p> <p>48 財政運営</p> <p>49 広域行政</p>

○政策目標の総括検証（基本構想 6 政策）結果

第 1 次総合計画の検証として、将来像実現に向けた 6 つの大きな柱である政策について、次のとおり、総括的な検証を行いました。

政策 1

第 1 章 広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり〔土地利用・都市基盤〕

恵まれた交通環境と地理的特性を最大限に生かし、活発な交流を支える美しく機能的な都市空間を形成します。

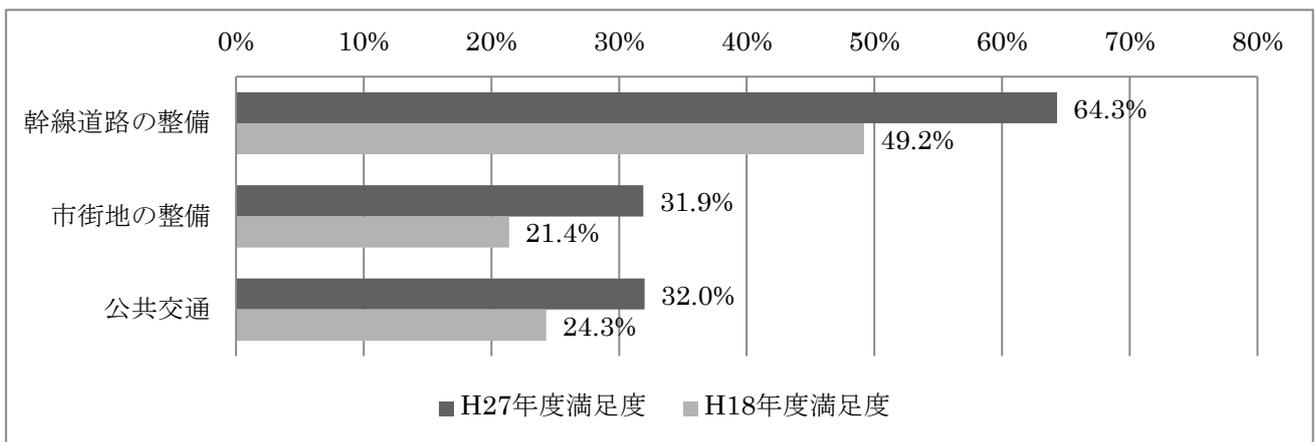
- ① 交流と地域の力を高める土地利用を推進します
- ② 多彩な交流・連携を支えるネットワークを形成します
- ③ 風土に根ざした美しい景観を育み、継承していきます

◎市民実感度調査結果による評価

市民実感度調査結果における施策に対する市民満足を見ると、平成 18 年度調査と平成 27 年度調査との比較では、市民満足度は、「幹線道路整備」、「市街地整備」、「公共交通」と全ての項目で上昇となっており、市民満足度の向上といった点で、政策目標の達成度合いについて、一定の成果が得られていると捉えることができます。

○市民満足度（※「満足している」＋「やや満足している」方の割合）

項目（施策）	H18 年度満足度	H27 年度満足度	比較結果（H18→H27）
幹線道路の整備	49.2%	64.3%	上昇 ↗
市街地の整備	21.4%	31.9%	上昇 ↗
公共交通	24.3%	32.0%	上昇 ↗



◎数値指標の達成状況による評価

数値指標の達成状況として、まず個別評価として指標ごとに 5 段階評価を行い、点数化し、その合計を指標の数で除した平均点をもって、総合評価としています。

土地利用・都市基盤の分野における 4 つの代表的な指標については、2 つの指標で、目標値以上、2 つの指標が概ね目標値となっており、総合評価では、A となっています。このことから、政策目標達成に向けた取り組みについて、計画どおりに進められたと捉えています。

○数値指標

項目（指標名）	H27 年度 目標値 (A)	H27 年度 実績値 (B)	目標達成率 (B/A)	評価	総合 評価
市内各駅の乗降人員数	6,740 人/日	7,089 人/日	105.2%	5	A
幹線道路の整備率（改良率）	75.6%	78.5%	103.8%	5	
都市計画道路の整備率	65.5%	61.8%	94.4%	4	
デマンドタクシーかさまの利用者数	206 人/日	200 人/日	97.1%	4	

<個別評価>

5：100%以上（目標を上回っている）	5点
4：80～100%未満（概ね目標値どおり）	4点
3：60～80%未満（目標値をやや下回っている）	3点
2：20～60%未満（目標値を下回っている）	2点
1：0～20%未満（目標値を大幅に下回っている）	1点

<総合評価>（指標評価の平均値）

A：政策目標が達成された	4.5点以上
B：政策目標が概ね達成された	3.5点以上 4.5点未満
C：政策目標の達成がやや遅れている	2.5点以上 3.5点未満
D：政策目標の達成が遅れている	1.5点以上 2.5点未満
E：政策目標が未達成	1.5点未満

◎総括検証

土地利用・都市基盤の分野では、まちづくりの重要な要素となる大規模公有地である、畜産試験場跡地の有効活用を図りました。また、本市の主要な駅である友部駅と岩間駅の橋上化や自由通路、駅前広場など交通結節点の機能を強化しました。さらに、本市の骨格となる都市計画道路や地域間を結ぶ幹線道路の整備を早期から進めてきたことで、市内の移動性が向上し、あわせて市内の公共交通空白地域を解消する地域公共交通として、デマンドタクシーかさまを導入するなど、市街地における拠点や道路交通ネットワークを形成してきたことで、新たな市域発展の土台となる都市基盤が形成されたと捉えています。

政策 2

第 2 章 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり〔産業〕

笠間の風土が息づくさまざまな交流を広げ、市民の豊かな暮らしにつながる活力ある産業の振興を図ります。

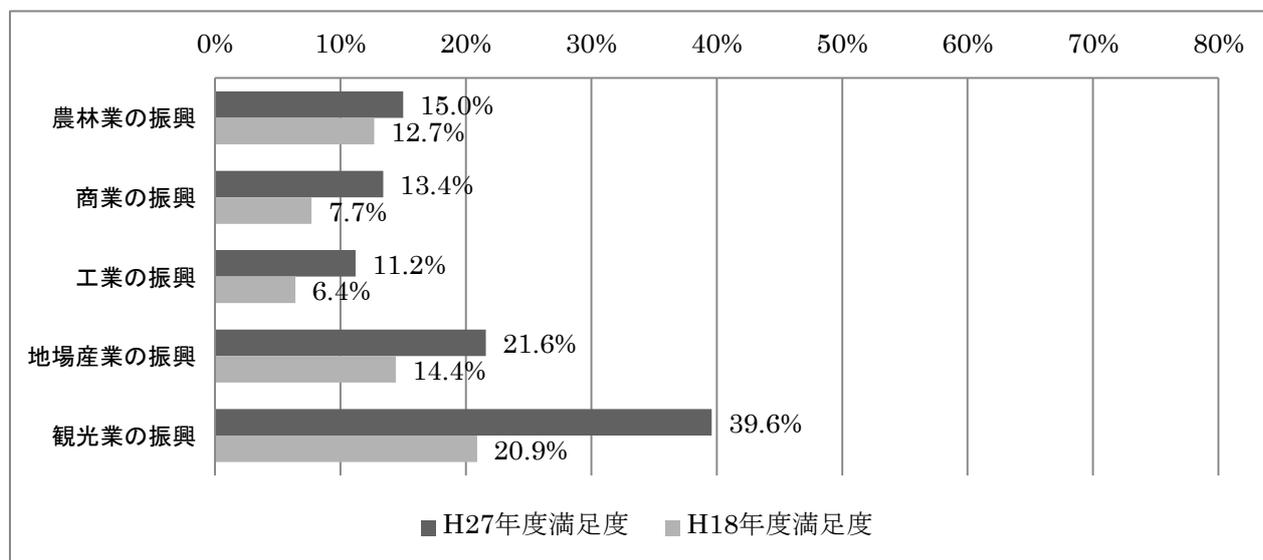
- ① 笠間を体感できる観光・産業を振興します
- ② 豊かな恵みを実感できる農林業を振興します
- ③ 交通条件を生かした、豊かさを育む商工業を振興します

◎市民実感度調査結果による評価

市民実感度調査結果における施策に対する市民満足度を見ると、平成 18 年度調査と平成 27 年度調査との比較では、市民満足度は、「農林業」「商工の振興」「工業の振興」「地場産業の振興」「観光業の振興」と全ての項目で上昇となっており、市民満足度の向上といった点で、政策目標の達成度合いについて、一定の成果が得られていると捉えることができます。

○市民満足度（※「満足している」＋「やや満足している」方の割合）

項目（施策）	H18 年度満足度	H27 年度満足度	比較結果 (H18→H27)
農林業の振興	12.7%	15.0%	上昇 ↗
商業の振興	7.7%	13.4%	上昇 ↗
工業の振興	6.4%	11.2%	上昇 ↗
地場産業の振興	14.4%	21.6%	上昇 ↗
観光業の振興	20.9%	39.6%	上昇 ↗



◎数値指標の達成状況による評価

産業の分野における 11 の代表的な指標については、5 つの指標で、目標値以上、6 つの指標が概ね目標値どおりとなっており、総合評価では、B となっています。このことから、政策目標達成に向けた取り組みについて、概ね計画どおりに進められたと捉えています。

○数値指標

項目（指標名）	H27 年度 目標値（A）	H27 年度 実績値（B）	目標達成率 （B/A）	評価	総合 評価
入り込み観光客数	3,338 千人	3,521 千人	105.5%	5	B
観光情報HPアクセス数	240,000 件	238,702 件	99.5%	4	
笠間焼協同組合員数（販売店含む）	160 人	163 人	101.9%	5	
稲田石材商工業組合員数	65 人	52 人	80.0%	4	
農産物のブランド化数	41 件	38 件	92.7%	4	
認定農業者数	133 人	147 人	110.5%	5	
農地集積面積	340ha	537ha	157.9%	5	
体験農業者数（笠間クラインガルテン 受付）	1,700 人	1,492 人	87.8%	4	
笠間市商工会商業部会員数	500 人	445 人	89.0%	4	
工業の推移（製造品出荷額） ※従業員 4 人以上の事業者	174,000 百万円	154,990 百万円	89.1%	4	
有効求人倍率（年平均）	0.6 ポイント	0.63 ポイント	105.0%	5	

<個別評価>

5：100%以上（目標を上回っている）	5 点
4：80～100%未満（概ね目標値どおり）	4 点
3：60～80%未満（目標値をやや下回っている）	3 点
2：20～60%未満（目標値を下回っている）	2 点
1：0～20%未満（目標値を大幅に下回っている）	1 点

<総合評価>（指標評価の平均値）

A：政策目標が達成された	4.5 点以上
B：政策目標が概ね達成された	3.5 点以上 4.5 点未満
C：政策目標の達成がやや遅れている	2.5 点以上 3.5 点未満
D：政策目標の達成が遅れている	1.5 点以上 2.5 点未満
E：政策目標が未達成	1.5 点未満

◎総括検証

産業の分野は特に、社会経済情勢の影響に大きく左右され、地域の成長に大きく関係する分野となっており、この 10 年の間には、リーマンショックや東日本大震災など、地域経済に多大な影響を及ぼす情勢変化がありました。このような中で、地場農産物のブランド化や地域産業の活性化に資する取り組みや雇用創出、市内工業団地等に優良企業の誘致を図るなど、一定の成果が得られているものと捉えています。

政策3

第3章 共に支えあい、健やかに暮らせるまちづくり〔健康・福祉〕

支えあう心を大切にし、だれもが安心して健やかに暮らせる福祉社会の実現を目指します。

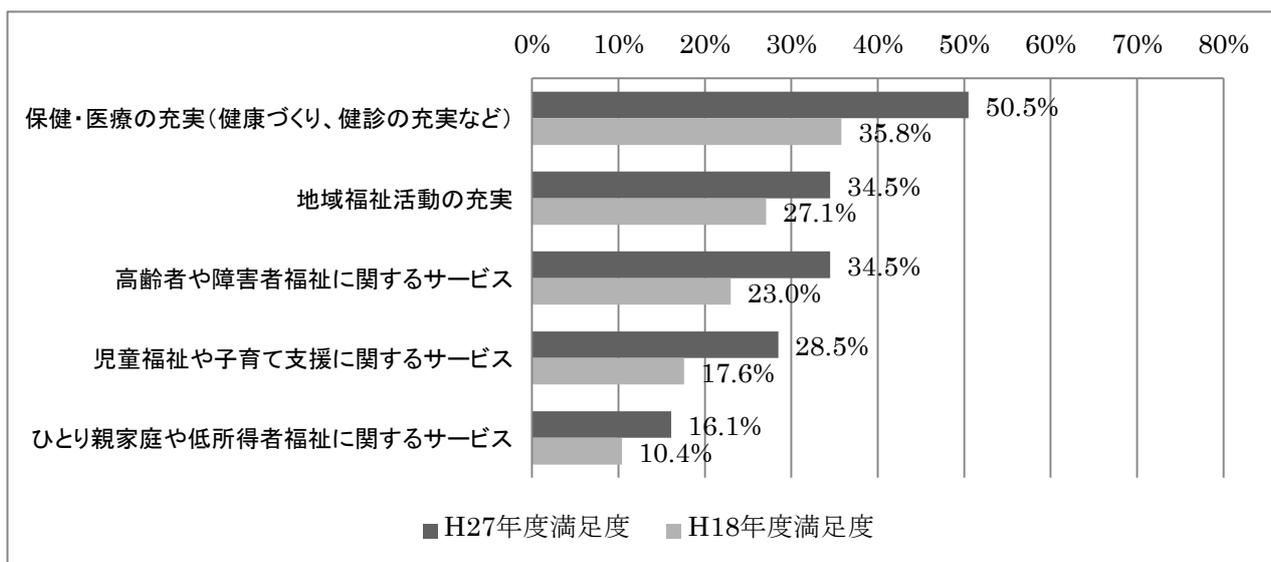
- ①日々の健康を支える安心な保健・医療の体制を整えます。
- ②支えあい、心がかよう福祉環境をつくります。
- ③安心して子どもを産み育てることができる環境をつくります。

◎市民実感度調査結果による評価

市民実感度調査結果における施策に対する市民満足度を見ると、平成18年度調査と平成27年度調査との比較では、市民満足度は、「保健医療の充実」「地域福祉活動の充実」「高齢者や障害者福祉に関するサービス」「児童福祉や子育て支援に関するサービス」「ひとり親家庭や低所得者福祉に関するサービス」と全ての項目で上昇となっており、市民満足度の向上といった点で、政策目標の達成度合いについて、一定の成果が得られていると捉えることができます。

○市民満足度（※「満足している」＋「やや満足している」方の割合）

項目（施策）	H18年度満足度	H27年度満足度	比較結果（H18→H27）
保健・医療の充実（健康づくり、健診の充実など）	35.8%	50.5%	上昇 ↗
地域福祉活動の充実	27.1%	34.5%	上昇 ↗
高齢者や障害者福祉に関するサービス	23.0%	34.5%	上昇 ↗
児童福祉や子育て支援に関するサービス	17.6%	28.5%	上昇 ↗
ひとり親家庭や低所得者福祉に関するサービス	10.4%	16.1%	上昇 ↗



◎数値指標の達成状況による評価

健康・福祉の分野における 15 の代表的な指標については、7 つの指標が目標値以上、4 つの指標が概ね目標値どおり、3 つの指標が目標値をやや下回っている、1 つの指標が目標値を下回っているとなっており、総合評価では、Bとなっています。

これらのことから、政策目標の達成に向けた取り組みについて、概ね計画どおりに進められたと捉えています。

○数値指標

項目（指標名）	H27 年度 目標値 (A)	H27 年度 実績値 (B)	目標達成率 (B/A)	評価	総合 評価
子育て支援センター利用者数（児童館内施設を含む）	33,800 人	26,511 人	78.4%	3	B
ファミリーサポートセンター会員数	450 人	400 人	88.9%	4	
出生率の推移	7.4‰	6.8‰	91.9%	4	
特定健診受診率	50%	37.1%	74.2%	3	
各種がん検診受診率	42.5%	18.9%	44.5%	2	
休日・夜間初期救急診療日数	296 日	296 日	100.0%	5	
国民健康保険税の収納率（現年度分）	87.6%	88.97%	101.6%	5	
1人当たりの医療費*	238,149 円	215,208 円	110.7%	5	
ボランティア登録団体数	92 団体	85 団体	92.4%	4	
ボランティア登録延人数	1,350 人	1,436 人	106.4%	5	
認知症サポーター数	800 人	1,845 人	230.6%	5	
高齢者の社会参加率（高齢者クラブ加入率）	24.1%	16.87%	70.0%	3	
福祉サービス年間利用件数	8,700 件	9,805 件	112.7%	5	
計画相談支援件数	224 件	1,003 件	447.8%	5	
施設入所者数*	105 人	123 人	80.0%	4	

※上記表中、「*」は抑制（減少）目標となっているため、(A/B)で算出しています。

<個別評価>

5：100%以上（目標を上回っている）	5 点
4：80～100%未満（概ね目標値どおり）	4 点
3：60～80%未満（目標値をやや下回っている）	3 点
2：20～60%未満（目標値を下回っている）	2 点
1：0～20%未満（目標値を大幅に下回っている）	1 点

<総合評価>（指標評価の平均値）

A：政策目標が達成された	4.5 点以上
B：政策目標が概ね達成された	3.5 点以上 4.5 点未満
C：政策目標の達成がやや遅れている	2.5 点以上 3.5 点未満
D：政策目標の達成が遅れている	1.5 点以上 2.5 点未満
E：政策目標が未達成	1.5 点未満

◎総括検証

健康・福祉の分野においては、少子高齢化に伴い、高まる市民ニーズにきめ細やかに応える取り組みを進めるとともに、健康都市宣言により、政策横断の取り組みをすすめ、市民の健康づくりに努めました。また、子育て包括支援センター数、ボランティア登録数も増え、支えあう福祉環境の向上が図られてきていると捉えています。

政策 4

第 4 章 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり〔生活環境〕

豊かな自然との共生を基本として、だれもが安全にゆとりをもって暮らせるやさしさに包まれた環境をつくりまします。

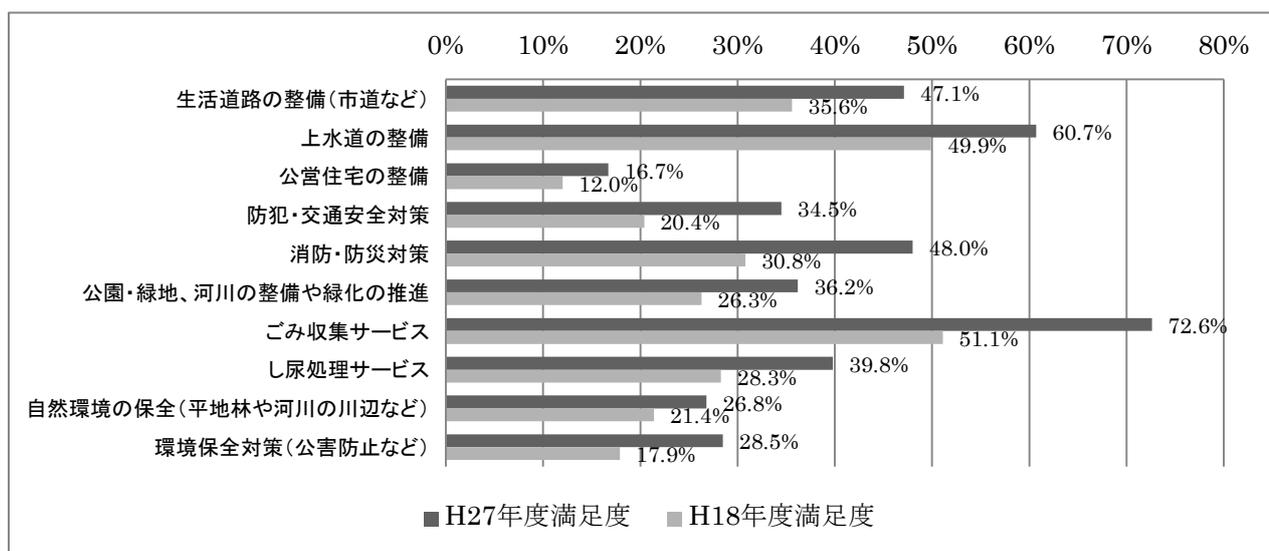
- ①だれにもやさしく、潤いのある生活環境を整えます。
- ②さまざまな不安や災害に強い安心・安全なまちをつくりまします。
- ③自然環境にやさしい循環型社会をつくりまします。

◎市民実感度調査結果による評価

市民実感度調査結果における施策に対する市民満足度を見ると、平成 18 年度調査と平成 27 年度調査との比較では、市民満足度は、全ての項目で上昇となっており、市民満足度の向上といった点で、政策目標の達成度合いについて、一定の成果が得られていると捉えることができます。

○市民満足度（※「満足している」＋「やや満足している」方の割合）

項目（施策）	H18 年度満足度	H27 年度満足度	比較結果 (H18→H27)
生活道路の整備（市道など）	35.6%	47.1%	上昇 ↗
上水道の整備	49.9%	60.7%	上昇 ↗
公営住宅の整備	12.0%	16.7%	上昇 ↗
防犯・交通安全対策	20.4%	34.5%	上昇 ↗
消防・防災対策	30.8%	48.0%	上昇 ↗
公園・緑地、河川の整備や緑化の推進	26.3%	36.2%	上昇 ↗
ごみ収集サービス	51.1%	72.6%	上昇 ↗
し尿処理サービス	28.3%	39.8%	上昇 ↗
自然環境の保全（平地林や河川の川辺など）	21.4%	26.8%	上昇 ↗
環境保全対策（公害防止など）	17.9%	28.5%	上昇 ↗



◎数値指標の達成状況による評価

生活環境の分野における 28 の代表的な指標については、18 の指標が目標値以上、7 つの指標が概ね目標値どおり、3 つの指標が目標値をやや下回っているとなっており、総合評価では、Aとなっています。このことから、政策目標達成に向けた取り組みについて、概ね計画どおりに進められたと捉えています。

○数値指標

項目（指標名）	H27 年度 目標値 (A)	H27 年度 実績値 (B)	目標達成率 (B/A)	評価	総合 評価
市道の整備率（改良率）	42.6%	42.2%	99.1%	4	A
歩道の整備延長	103,914m	105,080m	101.1%	5	
道路里親実施団体数	61 団体	38 団体	62.3%	3	
市民 1 人当たりの公園面積	9.24 m ²	9.41 m ²	101.8%	5	
市民と行政の協働による維持管理公園数	7 箇所	5 箇所	71.4%	3	
水質環境基準達成率	82.5%	89.9%	109.0%	5	
浸水被害箇所改修率（行幸町周辺地区）	92%	92%	100.0%	5	
水道普及率	89.5%	81.62%	91.2%	4	
年間有収率	89.5%	84.63%	94.6%	4	
水洗化率（公共下水道）	73.4%	79%	107.6%	5	
水洗化率（農業集落排水）	78.8%	75.9%	96.3%	4	
住宅の耐震化率	74%	78.6%	106.2%	5	
住宅用太陽光発電システム設置率	3.5%	3.7%	105.7%	5	
自主防災組織率	55%	57.7%	104.9%	5	
避難所の耐震化率	100%	96.7%	96.7%	4	
民間救急ボランティア（KHS）登録者数	100 人	104 人	104.0%	5	
普通救命講習会受講者数	1,100 人	1,039 人	94.5%	4	
住宅用火災警報器普及率	70%	73%	104.3%	5	
刑法犯罪発生件数	1,000 件	693 件	144.3%	5	
防犯自主活動組織数	25 団体	29 団体	116.0%	5	
防犯講習会（開催回数）参加者数	100 人	104 人	104.0%	5	
交通事故発生件数	300 件以下	289 件	103.8%	5	
交通事故死者数	3 人以下	3 人	100.0%	5	
出前講座・消費生活講座の年間受講者数	700 人	1,036 人	148.0%	5	
相談受理件数*	348	517	67.3%	3	
公害等苦情・相談件数*	388	201	193.0%	5	
1人1日当たりのごみの排出量（生活系）*	700g	682g	102.6%	5	
ごみの再資源化率（リサイクル率）	24%	21%	87.5%	4	

※上記表中、「*」は抑制（減少）目標となっているため、(A/B)で算出しています。

<個別評価>

5：100%以上（目標を上回っている）	5点
4：80～100%未満（概ね目標値どおり）	4点
3：60～80%未満（目標値をやや下回っている）	3点
2：20～60%未満（目標値を下回っている）	2点
1：0～20%未満（目標値を大幅に下回っている）	1点

<総合評価>（指標評価の平均値）

A：政策目標が達成された	4.5点以上
B：政策目標が概ね達成された	3.5点以上 4.5点未満
C：政策目標の達成がやや遅れている	2.5点以上 3.5点未満
D：政策目標の達成が遅れている	1.5点以上 2.5点未満
E：政策目標が未達成	1.5点未満

◎総括検証

生活環境の分野においては、日常生活を支える生活道路や、公園などの整備を進め、潤いのある生活環境の整備に努めてきました。

また、良好な自然環境を守るために、水の安定供給や生活排水の適正な処理に取り組みました。さらに、太陽光発電の推進や、リサイクル率の向上に努めました。

さらに、防犯、防災への市民の自主的な取り組みをすすめ、災害に強い安心・安全なまちづくりを進めてきました。目標達成率も高いことから、一定の成果が得られたものと捉えています。

政策5

第5章 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり〔教育・文化〕

歴史や文化を育んできた風土を大切に、次代を担う人づくりを進め、創造・発信する豊かな文化を育みます。

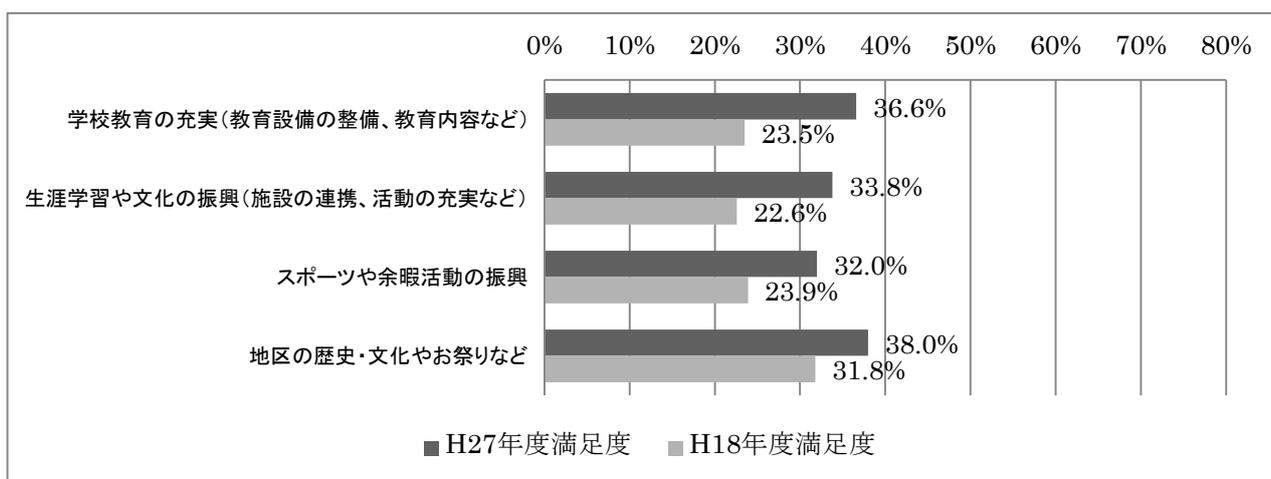
- ①次代を担う子どもを育みます。
- ②だれもが自ら学び、能力を発揮できる環境をつくれます。
- ③個性と創造性豊かな笠間の文化を広げていきます。

◎市民実感度調査結果による評価

市民実感度調査結果における施策に対する市民満足度を見ると、平成18年度調査と平成27年度調査との比較では、市民満足度は、「学校教育の充実」「生涯学習や文化の振興」「スポーツや余暇活動の振興」「地区の歴史・文化やお祭りなど」と全ての項目で上昇となっており、市民満足度の向上といった点で、政策目標の達成度合いについて、一定の成果が得られていると捉えることができます。一方、施策の重要度を踏まえると、施策水準の維持又は向上に資する取り組みへの期待が伺えるのと同時に、現状と将来課題を踏まえ、方向性を検討する必要があります。

○市民満足度（※「満足している」＋「やや満足している」方の割合）

項目（施策）	H18年度満足度	H27年度満足度	比較結果（H18→H27）
学校教育の充実（教育設備の整備、教育内容など）	23.5%	36.6%	上昇 ↗
生涯学習や文化の振興（施設の連携、活動の充実など）	22.6%	33.8%	上昇 ↗
スポーツや余暇活動の振興	23.9%	32.0%	上昇 ↗
地区の歴史・文化やお祭りなど	31.8%	38.0%	上昇 ↗



◎数値指標の達成状況による評価

教育・文化の分野における 17 の代表的な指標については、11 の指標が目標値以上、6 つの指標が概ね目標値どおりとなっており、総合評価では、A となっています。このことから、政策目標達成に向けた取り組みについて、計画どおりに進められたと捉えています。

○数値指標

項目（指標名）	H27 年度 目標値 (A)	H27 年度 実績値 (B)	目標達成率 (B/A)	評価	総合 評価
高齢者との交流会活動数	5 回／年	4 回／年	80.0%	4	A
高齢者との交流会参加人数	37 人	63 人	170.0%	5	
茨城県学力診断のためのテスト (県平均点数との比較)	2.5 点	▲1.6 点	93.5%	4	
全国体力・運動能力調査 (中学校における県平均との比較)	2 点	▲1.9 点	92.4%	4	
学校施設の耐震化率	100%	100%	100%	5	
子ども会加入児童率	95%	82.1%	86.4%	4	
「青少年の健全育成に協力する店」加 入率	70%	76%	108.6%	5	
図書館入館者数	541,000 人	624,381 人	115.4%	5	
図書館資料案内件数 (レファレンス件数)	3,050 件	6,462 件	211.9%	5	
図書館資料展示回数	12 回	84 回	700.0%	5	
公民館利用者数	195,000 人	173,283 人	88.9%	4	
スポーツ少年団指導者率	58%	66.32%	100.0%	5	
スポーツ教室 参加者数	9 人	19 人	211.1%	5	
歴史民俗資料館の入場者数	1,200 人	1,461 人	121.8%	5	
芸術・文化関連事業の開催回数 (青少年劇場小公演)	8 回	12 回	150.0%	5	
芸術・文化関連事業への出品数 (全国こども陶芸展作品応募数)	1,350 点	1,319 点	97.7%	4	
国際交流事業への参加者数	415 人	1,500 人	361.4%	5	

<個別評価>

5：100%以上（目標を上回っている）	5 点
4：80～100%未満（概ね目標値どおり）	4 点
3：60～80%未満（目標値をやや下回っている）	3 点
2：20～60%未満（目標値を下回っている）	2 点
1：0～20%未満（目標値を大幅に下回っている）	1 点

<総合評価>（指標評価の平均値）

A：政策目標が達成された	4.5 点以上
B：政策目標が概ね達成された	3.5 点以上 4.5 点未満
C：政策目標の達成がやや遅れている	2.5 点以上 3.5 点未満
D：政策目標の達成が遅れている	1.5 点以上 2.5 点未満
E：政策目標が未達成	1.5 点未満

◎総括検証

教育・文化の分野においては、合併直後から計画的な小中学校の耐震化を進めることで、子どもの教育施設環境の向上、安全確保につながったと捉えています。また、スポーツ施設の運営管理について、指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを活用することで、多様化する市民ニーズに、より効果的、効率的に対応することが可能となっています。さらに、市民参加のスポーツ大会等の開催により、合併後の新市の一体感の醸成にも寄与してきたところです。

施策目標については、概ね達成したものと捉えていますが、特に教育においては、施策への期待が非常に高い分野であると言えます。

政策 6

第 6 章 人と地域、絆を大切にした元気なまちづくり〔自治・協働〕

一人ひとりを大切にし、市民と行政の協働による楽しく元気なまちづくりを実践します。

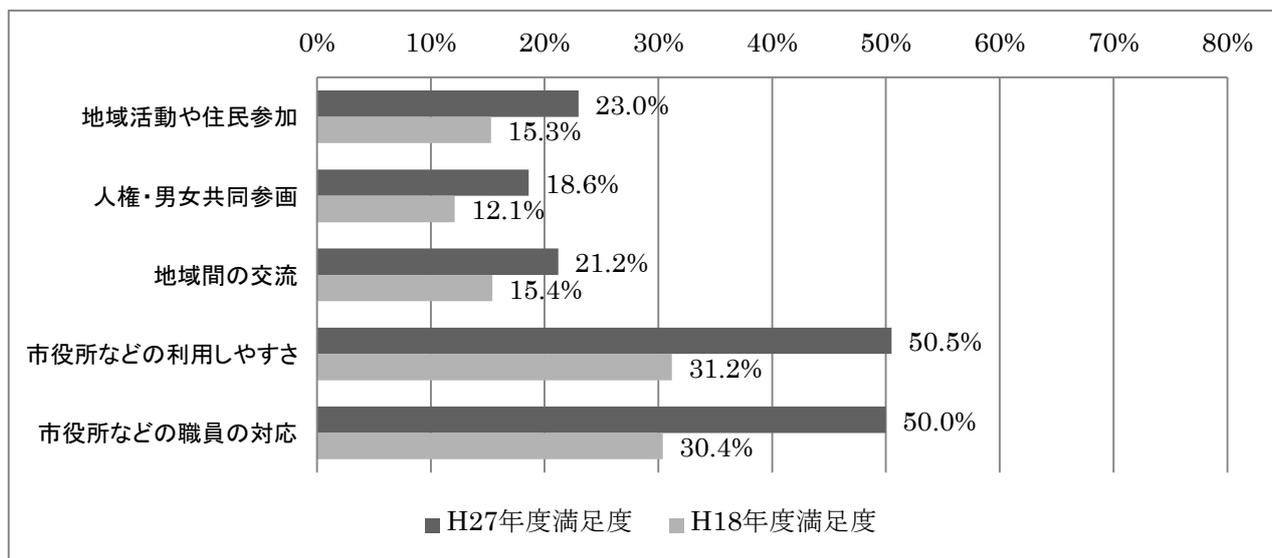
- ①一人ひとりが尊重しあう心を育みます。
- ②地域の大切さを知り、協働による地域づくりを進めます。
- ③自治を育み、創造的な行財政運営を推進します

◎市民実感度調査結果による評価

市民実感度調査結果における施策に対する市民満足度を見ると、平成 18 年度調査と平成 27 年度調査との比較では、市民満足度は、「地域活動や住民参加」「人権・男女共同参画」「地域間の交流」「市役所などの利用のしやすさ」「市役所などの職員の対応」と全ての項目で上昇となっており、市民満足度の向上といった点で、政策目標の達成度合いについて、一定の成果が得られていると捉えることができます。

○市民満足度（※「満足している」＋「やや満足している」方の割合）

項目（施策）	H18 年度満足度	H27 年度満足度	比較結果 (H18→H27)
地域活動や住民参加	15.3%	23.0%	上昇 ↗
人権・男女共同参画	12.1%	18.6%	上昇 ↗
地域間の交流	15.4%	21.2%	上昇 ↗
市役所などの利用しやすさ	31.2%	50.5%	上昇 ↗
市役所などの職員の対応	30.4%	50.0%	上昇 ↗



◎数値指標の達成状況による評価

生活環境の分野における 17 の代表的な指標については、11 の指標が目標値以上、4 つの指標が概ね目標値どおり、1 つの指標が目標値をやや下回っている、1 つの指標が目標値を下回っているとなっており、総合評価では、Bとなっています。

これらのことから、政策目標達成に向けた取り組みについて、概ね計画どおりに進められたと捉えています。

○数値指標

項目（指標名）	H27 年度 目標値 (A)	H27 年度 実績値 (B)	目標達成率 (B/A)	評価	総合 評価
人権意識の高揚啓発活動回数	7 回／年	20 回／年	285.7%	5	B
人権教室実施回数（市内小学校 3・4 年生対象）	11 回／年	11 回／年	100.0%	5	
市の審議会等における女性委員の占める割合	33%	28.7%	87.0%	4	
男女共同参画講座の参加者数	300 人	404 人	134.7%	5	
NPO 法人数	31 団体	29 団体	93.5%	4	
地域ポイント制度に参加する人数 （H23～H24 年度の社会実験事業を含む）	1,100 人	2,786 人	253.3%	5	
まちづくり市民活動助成金助成団体数	12 団体	7 団体	58.3%	2	
地域集会所の数	173 件	173 件	100.0%	5	
ホームページアクセス件数	1,850,000 件	1,378,181 件	74.5%	3	
メールマガジン登録者数（かさめ～）	2,625 人	2,861 人	109.0%	5	
他団体等との人事交流率	26%	27.2%	103.8%	5	
第 2 次情報化基本計画基本目標の達成率	80%	78.85%	98.6%	4	
実質公債費比率*	14.3%	9.2%	155.4%	5	
将来負担比率*	90%	22.8%	394.7%	5	
経常収支比率*	87.5%	88.1%	99.3%	4	
市税等徴収率	89.7%	91.7%	102.2%	5	
広域市町村の構成自治体の公共施設相互利用率	10.5	10.9	103.8%	5	

※上記表中、「*」は抑制（減少）目標となっているため、(A/B)で算出しています。

<個別評価>

5：100%以上（目標を上回っている）	5 点
4：80～100%未満（概ね目標値どおり）	4 点
3：60～80%未満（目標値をやや下回っている）	3 点
2：20～60%未満（目標値を下回っている）	2 点
1：0～20%未満（目標値を大幅に下回っている）	1 点

<総合評価>（指標評価の平均値）

A：政策目標が達成された	4.5 点以上
B：政策目標が概ね達成された	3.5 点以上 4.5 点未満
C：政策目標の達成がやや遅れている	2.5 点以上 3.5 点未満
D：政策目標の達成が遅れている	1.5 点以上 2.5 点未満
E：政策目標が未達成	1.5 点未満

◎総括検証

自治・協働分野においては、人権の尊重や男女共同参画意識の啓発をおこない、地域ポイント制度、活動拠点整備など、地域活動への住民参加を促し、また、広報戦略室を設置し、新たな情報提供体制を構築するとともに、将来にわたって持続可能な行財政基盤の確立に取り組んできました。

市役所の利用しやすさや、職員の対応の満足度が上昇していることから、一定の成果が得られていると捉えています。